

Excel・Word 実習

(序章・Microsoft Windows XP 基本操作編)

2007.4

学科名		学科	氏名	
-----	--	----	----	--

◎ 主な対象パソコン

Microsoft Windows XP SP2

1. Microsoft Windows XP SP2 の基本操作

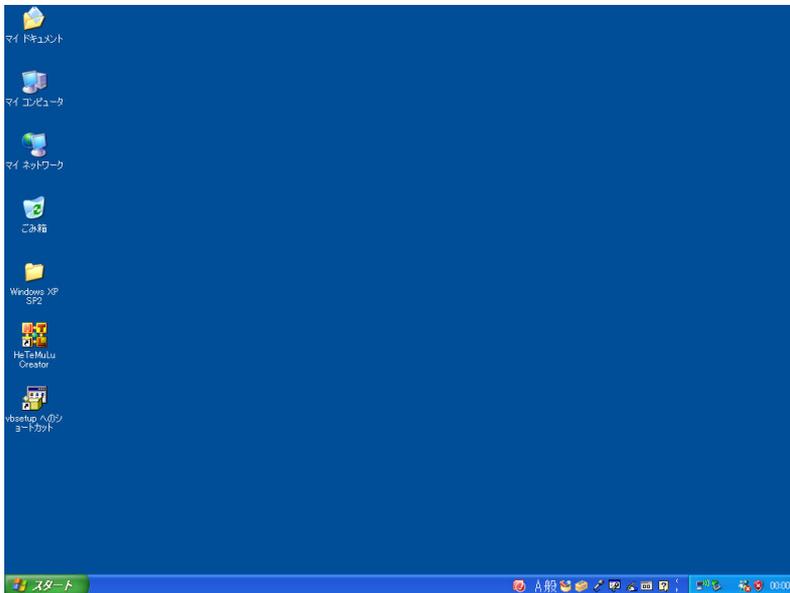
パソコンで仕事を行う場合、Microsoft Office などのアプリケーションソフトウェアの操作の他に、①フォルダを移動したり、②フォルダを作成したり、③フォルダやファイルの名前を変更したり、④フォルダやファイルを削除したりなどと言った補助的な作業も必要です。

各自のコンピュータ内(ローカルコンピュータと言う)にあるフォルダやファイルを操作する場合、「**マイ コンピュータ**」を起動します。



(例)

(1) デスクトップから「**マイ コンピュータ**」を起動する場合



デスクトップ上に「**マイ コンピュータ**」アイコンが有る場合は、この「**マイ コンピュータ**」アイコンをダブルクリックする。

デスクトップ上に「**マイ コンピュータ**」アイコンが無い場合は、[スタート]ボタン中の「**マイ コンピュータ**」を右クリックすると、メニューが表示される。その中の[デスクトップに表示(S)]をクリックすると、**デスク**

トップ上に「**マイ コンピュータ**」が表示される。

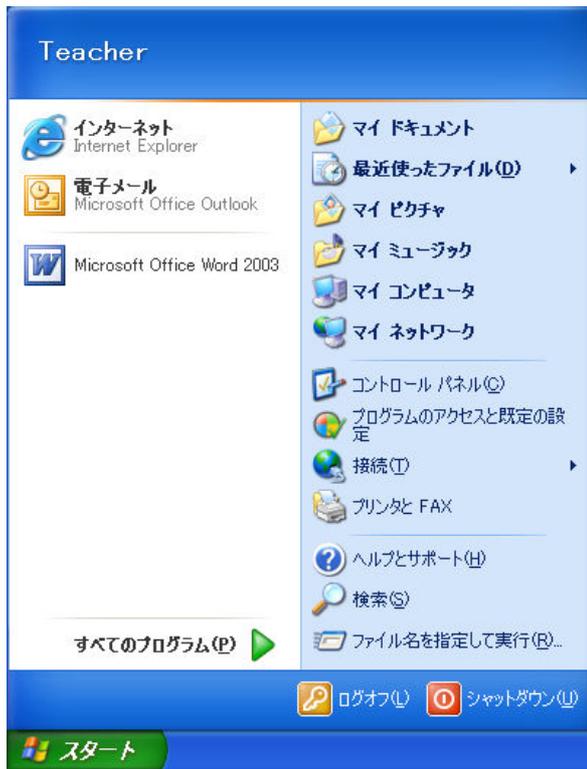
※ 今後の説明図においては、設定状況等により表示が異なる場合があります。

(2) 「スタート」ボタンから「マイ コンピュータ」を起動する場合

① 「スタート」ボタンを押し、[スタート]メニューを表示する。



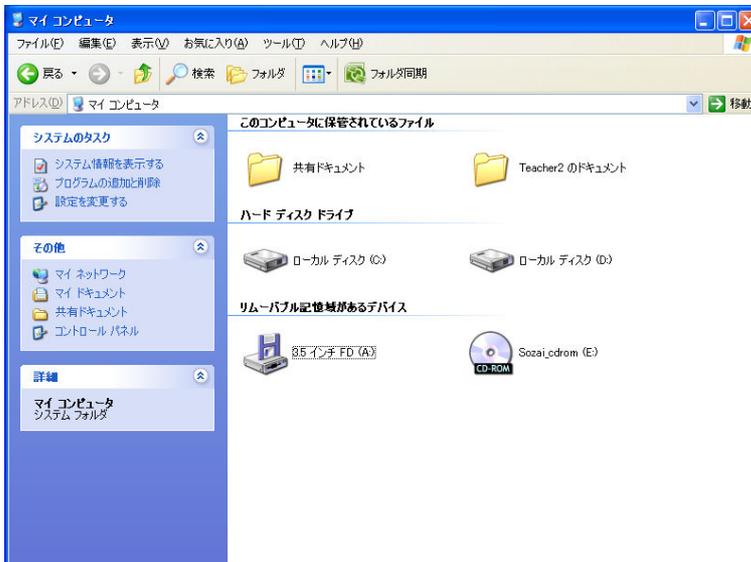
② [スタート]メニュー中の、「マイ コンピュータ」をクリックする。



デスクトップ上から「マイ コンピュータ」を起動した場合と、同様の操作結果が得られる。

すなわち、各自のやり易い操作の仕方を習得すれば良い。

(3) 「マイ コンピュータ」の表示



「このコンピュータに保管されているファイル」

- ・ ユーザ(利用者)ごとの専用作業用フォルダと共有フォルダを表示

「ハードディスクドライブ」

- ・ 各自のコンピュータのHDDを表示

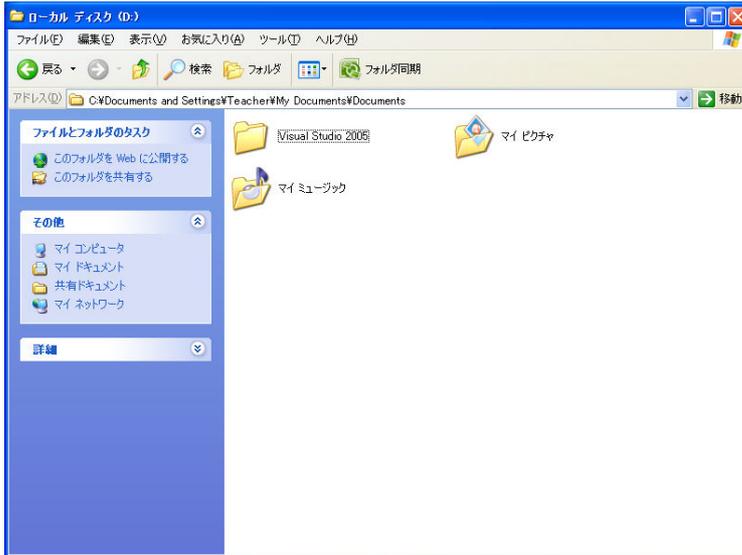
「リムーバブル記憶域があるデバイス」

- ・ フロッピーディスクやCD/DVDなど取り外し可能な記憶装置を表示

*1 HDD (Hard Disc Drive) : 固定式磁気ディスク記憶装置

*2 CD/DVD (Compact Disc/Digital Versatile Disc) : コンパクトディスク/デジタルバーサタイルディスクの光ディスク装置

(4) ①フォルダを移動する場合



フォルダとは、複数のファイルなどを格納しておく場所を言う。

Windows XP ではフォルダアイコンをクリックするとフォルダの移動ができる。

また、フォルダを移動することを、チェンジディレクトリと言う。

なお、フォルダは階層構造となっており、一つ上のフォルダに移動する場合は  (上へ) ボタンをクリックする。

 (戻る) ボタンをクリックすると、チェンジディレクトリをした直前のフォルダに戻ることができる。

 (戻る) ボタンをクリックして作業フォルダを移動した場合、 (進む) ボタンが有効となり、 (進む) ボタンをクリックすると作業フォルダを移動する(進める)ことができる。

(具体例)

[マイコンピュータ]⇒[Teacher2 のドキュメント]⇒[マイピクチャ]の順でフォルダをクリックした場合

 (戻る) ボタンをクリックすると

[マイピクチャ]⇒[Teacher2 のドキュメント]⇒[マイコンピュータ]の順でフォルダを移動

 (進む) ボタンをクリックすると((戻る) ボタンをクリックして有効になっている場合のみ)

[マイコンピュータ]⇒[Teacher2 のドキュメント]⇒[マイピクチャ]の順でフォルダを移動

 (上へ) ボタンをクリックすると

[マイピクチャ]⇒[Teacher2 のドキュメント]⇒[マイコンピュータ]の順でフォルダを移動

※ フォルダの中にあるフォルダを、特にサブフォルダと言う。

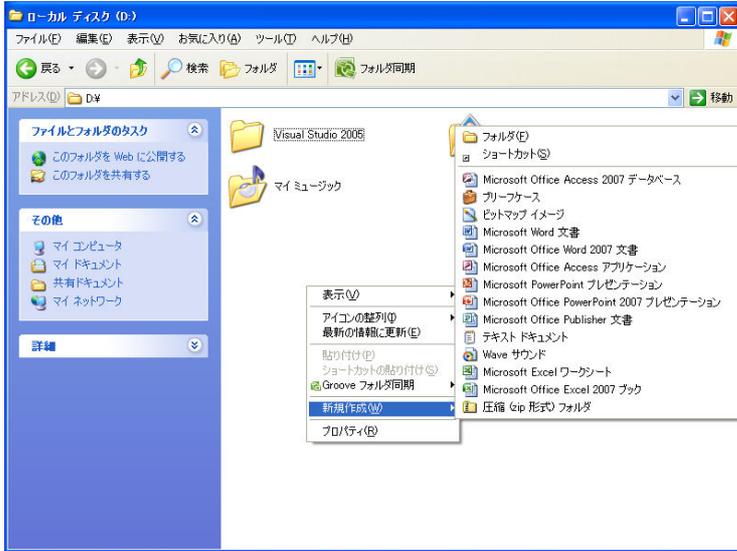
※ 階層構造中の最上位のフォルダを、ルートフォルダと言う。

※ 階層構造中あるフォルダの、一つ上位のフォルダを親フォルダと言う。

(5) ②フォルダの作成

ドライブ中やフォルダ中に、必要に応じてフォルダを作成することができる。

ファイルや文書の数が多い場合は、適度にフォルダを作成して整理することが望ましい。

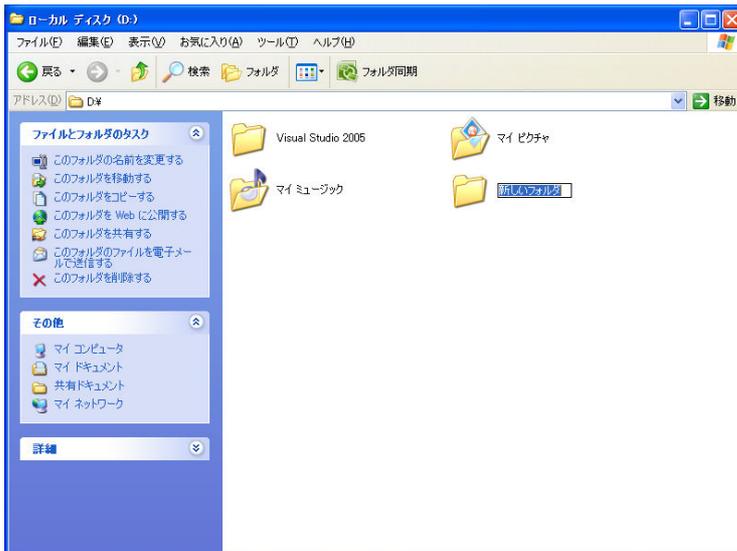
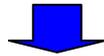


ドライブやフォルダ中に、フォルダを作成する場合、その中の空領域で右クリックする。

[新規作成 (N)] をポイントする。

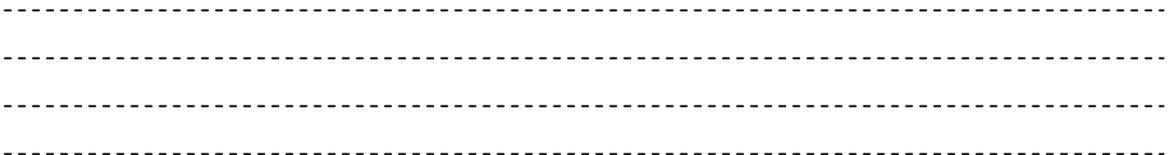
フォルダ (F) をクリックする。

新しいフォルダ が作成される。



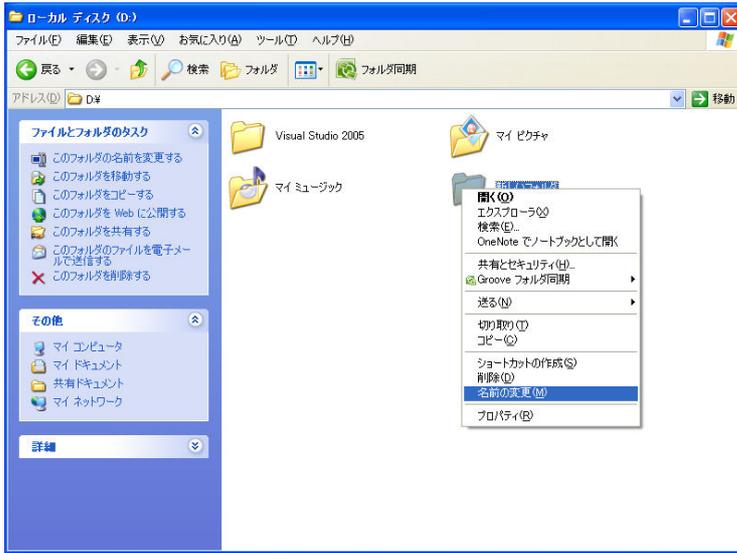
「新しいフォルダ」というフォルダが作成される。

必要に応じて、「新しいフォルダ」の名前を変更する。



(6) ③フォルダやファイルの名前を変更

フォルダやファイルは、必要に応じて名前を変更することができる。



名前を変更したいファイルやフォルダをマウスでポイントして、右クリックする。

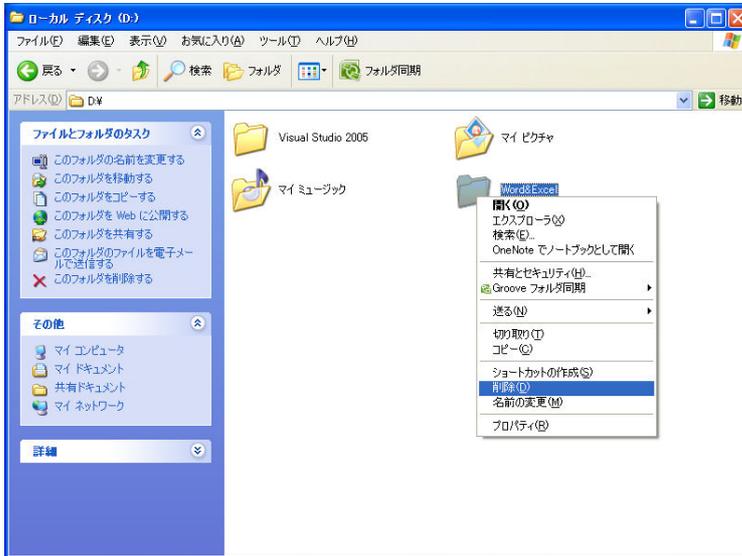
[**名前の変更(M)**]をクリックする。

 **新しいフォルダ** の状態の時に、名前を変更することができる。

※フォルダやファイルの名前として使用できない文字もある。

(7) ④フォルダやファイルの削除

フォルダやファイルは、必要に応じて削除することができる。



削除したいファイルやフォルダをマウスでポイントして、右クリックする。

[**削除(D)**]をクリックする。

確認ダイアログボックスが表示されるので、

[**はい(Y)**]と答えると削除される。

[**いいえ(N)**]と応えると削除は中止される。



2. Microsoft Windows XP SP2におけるフォルダとファイルの削除

Microsoft Windows XP では、「④フォルダやファイルの削除」の操作を行っても直ちに削除されない場合がある。

これは、ユーザ(利用者)が誤ってフォルダやファイルの削除操作をした場合でも、フォルダやファイルを救済するための仕組みである。

フォルダやファイルの削除操作されたものは、「ごみ箱」に一時保管される。

すなわち、「ごみ箱」に一時保管されたフォルダやファイルは救済可能である。



まだ、フォルダやファイルの削除操作をしていない状況の「ごみ箱」



フォルダやファイルの削除操作が行われた状況の「ごみ箱」
(書類が「ごみ箱」に捨てられているアイコンに変わる。)

「ごみ箱」は、通常はそのままでも良いが、実際には削除された訳ではないので、そのままにしておくとHDDの記録領域を圧迫する。

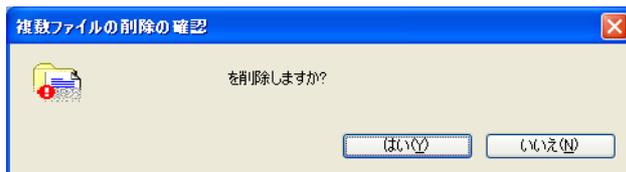
したがって、「ごみ箱」を空にすることができる。但し、その場合は削除されてフォルダやファイルは救済されない。



開く(O)
エクスプローラ(E)
ごみ箱を空にする(B)
ショートカットの作成(S)
プロパティ(R)

フォルダやファイルの削除操作が行われた状況の「ごみ箱」の時に、「ごみ箱」を右クリックする。

[ごみ箱を空にする(B)]をクリックする。



確認ダイアログボックスが表示されるので、
[はい(Y)]と答えると削除される。
[いいえ(N)]と応えると削除は中止される。



「ごみ箱」がこの状態に戻ると、フォルダやファイルの救済は出来ない。
Microsoft Windows 上では、フォルダやファイルは完全に削除された状態となる。